

妖怪文化を通じた地域学習の試み

市川寛也 (群馬大学教育学部美術教育講座)

1. 研究の概観

主な研究テーマ

- コミュニティ型アートプロジェクト等を事例とする地域と芸術との関係に関する研究
- 非専門的芸術家を主体とする創造活動を引き出す学びの場づくりに関する実践研究
- 現代の妖怪文化に関する総合的研究

2. 現代の妖怪文化研究

○妖怪文化の創造と伝承の構造図

| | |
|---------------|---------------|
| 創り手—内発的・・・体験者 | 受け手—内発的・・・伝承者 |
| 創り手—外発的・・・表現者 | 受け手—外発的・・・消費者 |

○徳島県三好市山城町の事例から

※地域住民を主体とする妖怪文化の活用⇒地域を舞台とする新たな妖怪文化の創造へ

○既存の物語 (コンテンツ) の活用 / 新しい物語の創作

⇒民間伝承由来／大衆文化由来

↓

妖怪採集の構想

3. 「妖怪採集」の取り組み

- ① 学ぶ・・・妖怪や地域について知る
- ② 歩く・・・妖怪がいそうな場所を探す
- ③ つくる・・・新しい物語を創作する
- ④ 話し合う・・・新しい物語 (妖怪) について話し合う
- ⑤ 編集する・・・情報 (データ) が蓄積されていく

⇒「妖怪採集データベース」の構築 (URL に 妖怪採集.com 入力で閲覧可能)

主な研究成果

- ・小松和彦 (監修) 『進化する妖怪文化研究』せりか書房、2017 年 (第 4 章 「妖怪採集」 のすすめ—日常を拡張するまなざしの獲得に向けて)
- ・一柳廣孝 (監修) 『怪異を歩く』青弓社、2016 年 (第 3 章 「創られる妖怪たち 地域に根差した物語再生への試み」)
- ・市川寛也 「妖怪の再創造と現代的活用—教材としての可能性に着目して」『美術教育学研究』第 50 号、2018 年